

広報

あしや

2003年10月15日号
(平成15年) No.878

毎月1日・15日発行

発行 / 芦屋市役所(広報課)

☎0797-31-2121

〒659-8501

兵庫県芦屋市精道町7番6号

ホームページ

http://www.city.ashiya.hyogo.jp/

メールアドレス

info@city.ashiya.hyogo.jp



市民の手で、市役所北広場花壇づくり

9月27日、市広報紙等の呼びかけに応じてくださった市民ボランティアを含む65人のかたがたの手で、市役所北広場の花壇に、3,000株の花が植えられました。

65歳以上のかたに実施しています

インフルエンザ予防接種のお知らせ

指定医療機関で、高齢者を対象にインフルエンザの予防接種を実施しています。

希望されるかたは、事前に指定医療機関へ電話でご確認の上、健康手帳(保健センターで交付)と健康保険証を持参して、お受けください。接種の際は、指定医療機関にある

インフルエンザについての説明書をよく読み、予診票を記入してください。

なお、卵アレルギーのあるかたは接種を避けてください。対象 六十歳以上六十五歳未満のかた

問い合わせ 保健センター ☎31586

心臓、腎臓、呼吸器等の機能障害により、身体障害者手帳一級と認定されたかた

接種期間 十月十五日から 平成十六年一月三十一日まで
接種回数 一回
費用 千円

高齢者インフルエンザ予防接種受託医療機関 (診療所名・電話)

青い鳥クリニック	☎21-6330
芦屋セントマリア病院	☎23-1771
芦屋橋本クリニック	☎21-3131
石井医院	☎32-2810
井田医院	☎22-3861
いとう内科	☎32-2030
井床医院	☎22-0093
井村耳鼻咽喉科	☎34-7744
上田内科	☎34-1878
上塚耳鼻咽喉科	☎22-5191
大谷クリニック	☎38-7001
大森医院	☎32-3997
岡内科小児科医院	☎23-0401
岡本クリニック	☎35-0939
荻野医院	☎23-6226
上條医院	☎34-0787
片岡外科医院	☎38-2655
北井内科クリニック	☎38-4188
北岡医院	☎22-3414
京極小児科	☎31-2735
高内科	☎38-0022
幸原小児科内科医院	☎22-0338
さわだクリニック	☎23-7117
重信医院	☎31-2480
杉岡クリニック	☎25-5335
筋師医院	☎23-0627
鈴木小児科	☎34-0766
須山脳神経外科クリニック	☎32-0020
瀬野内科医院	☎23-3578
高田診療所	☎31-0680
多田医院	☎32-3884
富永医院	☎22-3823
なかにしクリニック	☎25-1751
永松クリニック	☎32-3399
中村医院	☎23-0468
西川内科	☎31-7789
野村医院	☎22-5505
八ザマ耳鼻咽喉科	☎31-3387
平林医院	☎22-3548
広野医院	☎23-1363
福岡外科医院	☎31-5588
藤井内科医院	☎31-2531
本田外科胃腸科	☎31-2221
前川クリニック	☎38-1212
松岡内科	☎22-4592
松葉医院	☎22-1641
松村内科クリニック	☎31-0813
南芦屋浜病院	☎22-4040
みむらクリニック	☎32-5172
宮川医院	☎32-0011
宮代医院	☎32-5511
村田内科	☎23-2782
山下医院	☎22-5124
山田医院	☎22-9351
吉籠医院	☎32-2855
吉田内科クリニック	☎38-7210

募集します

芦屋庭園都市づくりワークショップ参加者

花と緑いっぱいのまちづくりを進めている本市では、さらに花に包まれるまちづくりを進めるため、「庭園都市宣言」を行います。庭園都市宣言の起草や、庭園都市の実現に向けて行政と市民それぞれの役割を確認し、活動を広げ・進めるための計画策定のワークショップを開催します。

期間 11月から平成16年2月まで(5回程度)

人数 市内在住・在勤・在学のかた15人

応募多数の場合は抽選

市民代表の緑化委員を含め、ワークショップは30人程度になります

申し込み はがきかE・メールで、住所(市内在住・在勤・在学)、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、緑化に対する思い・考えを簡単にご記入の上、10月22日(水) <必着>までに下記へ

問い合わせ 公園緑地課 ☎38-2065

(〒659-8501 精道町7-6)

メールアドレス info@city.ashiya.hyogo.jp

谷崎潤一郎賞受賞記念特別講演会

中央公論新社主催平成15年度第39回谷崎潤一郎賞の受賞者に多和田葉子氏が決定しました。谷崎ゆかりの芦屋市に受賞者をお招きし、特別講演会を開催します。

日時 11月21日(金)午後2時~3時30分

会場 ホテル竹園芦屋

講師 平成15年度谷崎潤一郎賞受賞者・多和田葉子氏

[受賞作品:「容疑者の夜行列車」青土社刊]

内容 「虚構としての伝統。わたしの谷崎潤一郎」

定員 200人(要整理券)

申し込み 10月31日(金) <必着>までに、往復はがき(1枚の申し込みで1人)に、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、下記へ。

応募多数の場合は抽選します。

谷崎潤一郎記念館は、展示替えのため、10月20日~24日、11月25日~28日は休館します。

問い合わせ 谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852(〒659-0052 伊勢町12-15)

企画展 谷崎潤一郎訳「源氏物語」の世界

谷崎潤一郎は生涯に3度「源氏物語」の現代語訳をてがけました。本展では、原稿、校正刷り、挿絵、書簡、書籍などにより「谷崎源氏」の世界を紹介します。

会期 10月25日~11月24日

月曜休館(11月3・24日は開館、翌4日休館)

会場 谷崎潤一郎記念館

観覧料 一般300(240)円、大高生200(160)円、()内20人以上の団体料金。中学生以下無料

関連企画

朗読会 「谷崎源氏」を聴く

日時 11月16日(日)午後1時30分~

内容 『潤一郎訳源氏物語』・『潤一郎新々訳源氏物語』

「賢木」より

出演 朗読グループRST

費用 入館料必要。先着順



伊東深水(『潤一郎新訳源氏物語』発売記念ポスター原画) 1951年

ごあんない Report

秋の自然を満喫!
英国風庭園と丹波の黒豆枝豆狩り
10月29日(水) 8時45分～17時30分(8時30分に市役所南館玄関ロビー集合) 園東はりまフォルクスガーデン黒田庄、播磨中央公園、春日観光農園 園会員6,000円、会員外6,500円 優先者40人 10月15日(水) 9時～17時(土・日曜日を除く)に電話で右記へ 園 芦屋観光協会事務局(経済課内) ☎38-2033

家庭用品修理会(有料)
10月21日(火) 10月24日(金) いずれも10時～14時(雨天中止) 園 竹園集会所横広場(竹園町5-6) 前田集会所前広場(前田町8-17) 園 刃物(研磨)、靴(預かります) 園 消費生活センター ☎38-2034

保健センターからのお知らせ
園 保健センター ☎31-1586
【健康大学 一般公開講座】
10月30日(木) 14時～16時 芦屋市医師会医療センター 園 家庭における救急処置 園 兵庫医科大学救急部副部長・吉永和正氏
【幼児の食事とおやつ教室】
11月14日(金) 10時～12時 園 保健センター 園 2～3歳児と保護者30人(要予約)、先着15人託児あり 園 体の調子が悪いときの食事の与え方(試食あり)

山小50周年記念タイムカプセル開封式
11月3日(月・祝) 13時～14時 園 山手小学校グラウンド 園 昭和60年(1983年)に山小に在校したタイムカプセルに思い出を詰めたかた 園 山手小学校 ☎32-1113

秋の親子で楽しむおはなしの会・絵本の会
11月1日・8日(土) 14時～15時 園 図書館 おはなしのへや、よみきかせのへや 園 3歳～小学生と保護者 園 直接会場へ(おはなしの途中からの入室はできません) 園 図書館 ☎31-2301

芦屋川を楽しく美しく

芦屋川は多くの市民の憩いの場として利用されていますが、近隣住民や利用者から多数の苦情が寄せられています。芦屋川を楽しく美しく利用するために、河川敷等では次のことを守りましょう。
利用時に出たごみは、持って帰らしましょう。
周辺路上に、違法駐車をしないうください。
犬の手綱を放して散歩させないようにしましょう。
犬の糞を放置しないでください。
深夜に大声をだして騒がないでください。
ゴルフ・野球等の危険な行為はしないでください。
お問い合わせ 下水道課 ☎38-2064



花や緑に関する無料相談
園 毎週水・金曜日、毎月第1・3月曜日 いずれも9時～12時 園 緑の相談所(相談専用) ☎34-0031 陽光町1-1 総合公園内 園 都市整備公社みどりの課 ☎38-2103

カルペディエム・シャンソンの会
10月24日(金) 14時30分～16時 園 国際交流協会(大原町2-6-209 ラ・モール芦屋2階) 園 20人(要予約) 園 コピー代費 園 国際交流協会 ☎34-6340/FAX34-6341

建築無料相談会
10月26日(日) 13時～17時 園 アクタ西宮・西館1階ホール(西宮市北口町1-2) 園 自宅の耐震改修工事を計画しているかたに、県の実施する「わが家の耐震改修促進事業」の補助制度を有効利用いただくための相談 園 兵庫建築士事務所協会阪神支部 ☎06-6481-3211

見舞金・弔慰金を支給
朝鮮半島・台湾出身の旧軍人・軍属等であったかたやその遺族に、見舞金・弔慰金を支給します。
対象 特別永住者(帰化されたかたを含む)で、次のいずれかに該当するかた。
旧軍人・軍属等として戦死されたかたの遺族 重度戦傷病者のかた 重度戦傷病者の遺族 死亡時期や遺族の範囲に一定の条件あり。
支給額 遺族・260万円、重度戦傷病者・400万円
請求期限 平成16年3月31日までに、地域福祉課 ☎38-2113へ
相談会 10月21日(火) 13時30分～ 園 兵庫県職員会館(神戸市中央区下山手通) 園 兵庫県健康生活部福祉局援護室 ☎078-362-3204

納期 10月31日まで

個人市・県民税(普通徴収第3期分) / 課税課市民税担当 ☎38-2016
法人市民税・事業所税(8月31日決算の法人等) / 課税課管理担当 ☎38-2015
介護保険料(普通徴収第4期分) / 高齢福祉課介護保険担当 ☎38-2046
～納付は便利な口座振替で～
毎月20日は「阪神地域ノーマイカーデー」環境にやさしいドライブマナーを

公民館の催し

問い合わせ 公民館 ☎35-0700 (〒659-0068 養平町8-24)

公民館パソコン講座受講生募集

Windowsのパソコンが自宅にあり、文字が入力できるかたを対象に、Wordの操作を中心に学ぶ講座です。7月から8月のパソコン講座を受講されたかたは、今回は受講できません。

- パソコン入門講座(全5回)
< G - 1コース > 11月12日～12月10日 午前10時～11時50分、毎週水曜日
< H - 1コース > 11月12日～12月10日 午後1時～2時50分、毎週水曜日
やや中級のパソコン講座(全5回)
< G - 2コース > 11月13日～12月11日 午前10時～11時50分、毎週木曜日
< H - 2コース > 11月13日～12月11日 午後1時～2時50分、毎週木曜日
< G - 3コース > 11月14日～12月12日 午前10時～11時50分、毎週金曜日
< H - 3コース > 11月14日～12月12日 午後1時～2時50分、毎週金曜日
会場 市民センター・217室
教材費 1,500円(受講料は無料)
定員 各コースとも16人
申し込み 往復はがきに、住所・氏名・電話番号・年齢・希望コースを記入のうえ、10月27日(月) < 消印有効 > までに、公民館「パソコン講座」係へ

芦屋川カレッジ公開講座

- 韓日友好協力の時代的意義
ワールドカップの共同開催や6カ国協議等を受けて、注目される韓国と日本の関係の意義を、現役の外交官が豊富な経験を交えながら語ります。
日時 10月22日(水) 午後1時15分～2時45分
会場 市民センター・401室
講師 駐大阪大韓民国総領事館 神戸事務所長・金演権氏
申し込み 直接会場へ

文化探訪ウォッチング

日時 11月8日(土) 午前9時～11時30分頃
行き先 市民センター 三代句碑 光光祠 細雪の碑 芦屋神社
講師 元美術博物館副館長・岩本昌三氏
申し込み 電話またはファクス(22-6924)で公民館へ(先着30人)



高浜虚子三代句碑

文化・歴史バス参加者募集

日時 < Aコース > 11月28日(金) < Bコース > 12月5日(金)、いずれも9時～17時
募集 阪神7市1町に在住または在勤のかた、各コース74人 費用 3,000円(昼食つき) 集合(解散) JR川西池田駅北側ロータリー 行先 < A > ユニチカ記念館(尼崎市) / 北山緑化植物園(西宮市) / エンパ中国近代美術館(芦屋市) / みやのま文化の郷(伊丹市) / < B > 鉄斎美術館(宝塚市) / 大阪青山歴史文学博物館(川西市) / 静思館(猪名川町) / 有馬富士公園・有馬富士自然学習センター(三田市) 申し込み 往復はがきに希望コース名・氏名・住所・電話番号等を記入し、10月27日(月) < 必着 > で下記へ
問い合わせ 阪神広域行政圏協議会事務局 ☎06-6489-6141(〒660-8501 尼崎市東七松町1-23-1)

阪神間都市計画決定案の縦覧

縦覧件名 阪神間都市計画(芦屋国際文化住宅都市建設計画) 地区計画の決定(養平町地区地区計画)(芦屋市決定)案の縦覧
縦覧期間 10月15日～28日(平日の午前9時から正午、午後0時45分から5時15分)
縦覧場所 都市計画課(市役所北館3階)
この案について、住民および利害関係人は縦覧期間中に芦屋市長宛に意見書を提出することができます。上記の縦覧場所に提出してください。

問い合わせ 都市計画課まちづくり・開発事業担当 ☎38-2109

芦屋市ファミリー・サポート・センター 第2回協力会員募集養成講座

日時・内容 育児を支援して下さるかたの講座(全5回)

日	時	内 容
11月10日(月)	午前9時15分～11時15分	子どもの栄養
11月12日(水)	午前9時15分～11時15分	子どもの遊び
11月14日(金)	午前9時30分～午後0時30分	子ども救命法(ライセンス取得)
11月19日(水)	午前9時15分～11時15分	子どもの健康と発達
11月21日(金)	午前9時15分～11時15分	説明・登録

定員 30人(性別・年齢は問いません)
申し込み 電話またはファクスで下記へ

問い合わせ 芦屋市ファミリー・サポート・センター ☎25-0521/FAX25-0523(養平町8-24 社会福祉協議会内)

親子海上ウォッチング

～船上から阪神なぎさ回廊を親子で見学～

日時 11月16日(日) 雨天決行
A: 午前9時30分～午後0時30分
B: 午後1時～4時
コース A: 尼崎・西宮コース(約11km) 阪神出屋敷駅東口(集合)～北畑運河～尼ロック(見学)～甲子園(解散)
B: 芦屋・西宮コース(約15km) 芦屋市役所北側広場(集合)～芦屋キャナルパーク～西宮砲台～甲子園(解散)

募集人数 160人(午前・午後各80人) 応募多数の場合は抽選
申し込み 往復はがきに全員(4人まで)の住所、氏名、年齢、電話番号、希望時間を記入し、10月31日(金) < 消印有効 > までに下記へ
問い合わせ 阪神南泉民局泉土整備部企画調整担当 ☎06-4869-6100(〒660-0083 尼崎市道意町7-1-3)



キャナルパーク

阪神なぎさ回廊ウォーク

～海岸線を中心に甲子園まで歩こう!～

日時 11月16日(日) 小雨決行
受付: 午前9時～10時
ゴールは午後3時まで
コース A: 尼崎・西宮コース(約11km) 阪神出屋敷駅東口(集合)～北畑運河～尼ロック(見学)～甲子園(解散)
B: 芦屋・西宮コース(約15km) 芦屋市役所北側広場(集合)～芦屋キャナルパーク～西宮砲台～甲子園(解散)



問い合わせ 阪神南泉民局泉土整備部企画調整担当 ☎06-4869-6100(〒660-0083 尼崎市道意町7-1-3)

ミシュク ロマンティック・ピアノ 2003



ウラジミル・ミシュク

日時 12月7日(日) 午後2時開演(1時開場)
会場 ルナ・ホール 全席指定
出演 ウラジミル・ミシュク (90年チャイコフスキー国際コンクール第2位)
プログラム ベートーヴェン「悲愴」ノドビュッシー「月の光」「亜麻色の髪の乙女」ノラヴェル「水の戯れ」ノリスト「愛の夢」ノショパン「幻想即興曲」「英雄ポロネーズ」ほか
プログラムは都合上、曲目が変更になる場合があります。
入場料 前売 3,000円 当日 3,500円 未就学のお子さんの同伴、入場はご遠慮ください。前売券売り切れの場合、当日券の発売はしません。モンテメール大富、市役所売店、文化振興財団事務所、チケットぴあ、ローソンチケット
問い合わせ 文化振興財団 ☎31-4962

相談窓口案内のリーフレットを作成しました

市では、市民の皆さんの日常生活にかかわるさまざまな問題について、年間を通じて下表のような相談を受けています。
また他にも、市等の「福祉に関する相談」「健康に関する相談」「教育に関する相談」、県等の「法律相談」や「交通事故相談」、国等の「労働相談」などを実施しています。このたび、相談窓口をまとめたリーフレットを作成し、「希望のかたにお渡しいます。他の機関で行っている相談窓口も掲載していますので、ご利用ください。
相談は、有料と特記している以外は無料です。予約の必要な相談については、あらかじめ電話でお申し込みください。
なお、土・日曜日と祝日、および年末年始の相談業務については、一部を除きお休みとなりますので、ご注意ください。

「芦屋市の相談窓口」

お問い合わせ お困りです課 ☎38-5401

名称	内容	日時	相談員	窓口
市政相談	市政についての相談、問い合わせ、苦情、要望	執務時間中	市職員	お困りです課 ☎38-5401
法律相談(要予約)	借地・借家、金銭貸借などの日常生活上の法律問題	木曜日 13:00～16:00	弁護士	<相談の予約> 希望の週の月曜日、午前9時から電話で受付。休日の場合は、翌日に受付。
家事相談(要予約)	親子、夫婦、離婚、相続	水曜日 13:00～16:00	家庭裁判所調停委員	
行政相談	国や公社・公園への苦情、要望・意見など	第3水曜日 13:00～16:00	行政相談委員	
公正証書相談	遺言書・契約書・養育費の支払い等の公正証書など	第2火曜日 13:00～16:00	公証役場	
人権相談(要予約)	名誉そ損、差別、いやがらせ、いじめなど	第2・4火曜日 13:00～16:00	人権擁護委員	人権擁護担当 ☎38-2055 (予約は随時受付)
女性の悩み相談(要予約)	夫婦関係、家族問題、心の悩みなどの相談	金曜日 13:00～16:00	専門相談員	女性センター ☎38-2022 (予約は随時受付)
DVに関する相談(要予約)	D V(夫や恋人など親しい男性からの暴力) やセクハラ等、暴力の被害に関する総合的な相談	第1水曜日 13:00～16:00 祝日の場合 第2水曜日	専門相談員	
外国人生活相談	外国人の日常生活の相談(英語・日本語等)	月～土曜日 10:00～18:15	国際交流協会職員	国際交流協会 ☎34-6340
消費生活相談	商品やサービスの苦情、悪質商法等のトラブル、その他事業者との契約、くらしに関する疑問など	月～金曜日 9:00～12:00 12:45～16:00	専門相談員	消費生活センター ☎38-2034
心配ごと相談	日常生活のあらゆる相談	執務時間中	民生児童委員ほか	社会福祉協議会 ☎32-7530

生活環境の相談

名称	内容	日時	相談員	窓口
公害苦情相談	大気・水質・騒音・振動・悪臭等	執務時間中	市職員	環境保全担当 ☎38-2051
空地相談	近隣空地の雑草や虫の被害等	執務時間中	市職員	環境管理課 ☎38-2050
害虫駆除相談	家の中や庭木につく害虫の駆除方法			
ねずみ駆除相談	ねずみ駆除方法等			
緑化相談	緑化に関すること全般	毎週水・金曜日 第1・3月曜日 9:00～12:00	緑の相談員	都市整備公社みどりの課 ☎38-2103 <相談> ☎34-0031

税Q&A

Q 固定資産税の土地の評価は、どのように行われるのでしょうか。
A 固定資産税の土地の評価は、総務大臣が定めた「固定資産評価基準」をもとに地目別に行います。地目が宅地の場合は、市内を宅地の利用状況、街路の状況、交通施設等の接近の状況等が似通った地区に細かく区分します。現在、市内の宅地は七十九の地区に区分。区分した地区の中から標準的な宅地(標準宅地)を選定し、地価公示価格に標準宅地の価格を算定します。標準宅地の価格が決まります。次に標準宅地の道路と地区内の他の道路を比較し、標準宅地の道路の路線価をもとに他の道路の路線価を決定します。最後に地区内の個々の宅地に接する路線価に間口、奥行、形状等の補正をして個々の宅地の評価額を決定します。
問い合わせ 課税課固定資産税担当 ☎38-2017

1時間目	00	あしやNOW(*)フォーカス芦屋 「気をつけて! 消費者トラブル」	6:00
	20	リビート9ch(あしや自然百科(*)【再放送】) 「仲ノ池 今昔～昔の仲ノ池」平成10年10月放送	8:00
	30	チャレンジリポート(*) 「歯医者さんの仕事にチャレンジ」	12:00
	40	芦屋市民企画番組(*) 「芦屋市議会議員 24の顔」	14:00
2時間目			16:00
	20	西宮ライブラリー 町名の由来「今津水波町」	18:00
	30	ニッポンみたまま(30分) 「木を使って地球を守ろう!」	20:00
			22:00

放送時間 6:00～24:00(上記の順に毎朝6時から2時間サイクルで9回繰り返し放送します)
(*印の番組はビデオの貸出可 広報チャンネル(9ch)に関する問い合わせ 広報課 ☎38-2006
CATV全般に関する問い合わせ 機ケーブルネット神戸芦屋(J-COM Broadband神戸・芦屋) ☎0120-13-8160

9ch 広報番組ガイド

しそ森林王国交流事業

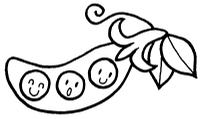
秋のしそ森林王国探索ツアー参加者募集

日時 11月9日(日) 小雨決行 集合 午前7時50分に体育館・青少年センターへ。解散は、同所で午後6時頃(予定) 行先 やすどみグリーンステーション鹿ヶ壺ハイキング(往復8km 3時間程度)、干し柿づくり 募集 小・中学生を含む家族・グループ、40人(応募多数の場合は抽選) 費用 1人2,000円(小学生以下は1,000円) 持ち物 弁当、水筒、雨具、皮むき器またはナイフ
申し込み 往復はがきに、参加希望者全員の住所・氏名・年齢(学年)・性別・電話番号を記入し、10月31日(金) < 必着 > で下記へ
問い合わせ スポーツ・青少年課青少年育成担当 ☎22-0358(〒659-0072 川西町15-3)

心と体に栄養を

第17回芦屋市学校給食展

豆・まめ・マメとくらしていますか Part 2



7月30日から8月1日までの夏休みを利用して、芦屋市学校給食展を市民センターで開催しました。多くの市民のかたがたに来場いただき、学校給食を通して「食」の重要性を考える機会となりました。

教育のページ

このページの問い合わせは
学校教育課(☎38-2087)へ

幼稚園ってどんなところ

幼稚園とは、親から離れて“他の人”と生活するという、一人で社会に踏み出す第一歩の場なのです。

4歳、5歳と2年間の生活で幼稚園が子どもたちに、やれるようになってもらいたいと思っていることは、たくさんあるのですが、その中の幾つかをお話したいと思います。



身体表現活動『ざりがにになって』

一つは、『自分のことは自分でする力』です。

先生に言われなくてもできなかつたり、一つするのに時間がかかったり、してもらうまで待っていたりするの、4歳児の姿です。気長に時間をかけてかかわっていく中で『自分でするんだな』と感じさせて、身に付けさせていくのです。

二つ目は、『幼児の心』を育てることです。

幼稚園では、園周辺の身近な環境特に、自然とのかかわりを大切にしています。豊かな自然体験が幼児の心を育てるのに大きな力となると考えています。

三つ目は、『人とかかわる力』を育てることです。幼稚園の生活は集団生活です。子どもたち一人ひとりの思いや活動を受けとめ、集団の中で互いを思い合う力を育てていくことが幼稚園生活の大きなねらいです。

幼稚園が大切にしていることは、まだまだあります。例えば、最後までやろうとする粘り強い力や我慢する力など。幼児に身に付けさせたいことは、たくさんあります。しかし、これらの力の育成は幼児と教師の信頼関係があつてこそ積み上がっていくものだと思います。

また、保護者や地域の理解と支援があつてこそ、よりよい幼稚園教育が進められると思います。ますます幼児が健やかに育っていきますよう、幼稚園としても一層の努力をしていきたいと思っています。



ふれあい遊び『大きい組さんと一緒に楽しいね』



人気の「試食コーナー」

そのほかにもクイズに答えながら会場内をまわるスタンプラリーやゴールでのヨーヨーすくいなど、小さなお子さんにも楽しんでいただけるように考えました。



小学生による作品はどれも力作ぞろい

- ・独自のアイデアで各校の特色ある給食がよくわかってきました。
- ・こんなにおいしい給食を食べられて子どもたちは幸せです。
- ・最近の給食はおいしいし、栄養あふるものでうらやましいです。
- ・すべて手作りなこと、バイキング給食等もしていることに感心しました。
- ・遺伝子組み換え食品のコーナーが参考になりました。
- ・子どもは幼稚園児ですが、安心して小学校へ送り出せる気がしました。

毎年、人気のコーナーは何といつても『試食コーナー』。連日試食コーナーの時間には大勢のかたに来場いただき、調理員手作りによる芦屋市自慢の給食を味わっていただきました。たくさん用意した料理もあっという間になくなってしまう、うれしい悲鳴の毎日でした。

今年、身近な食材である豆に焦点を当て、豆の栄養の素晴らしさや、豆の種類、現状などを知っていただく。世界中の豆を展示したり、大豆がどのように加工されて豆腐や油といった食品に変わっていくか、また、実際に石臼をひきながらきな粉を作ったり、コンピュータで豆の自給率を学んだり、ただ見るだけでなく、さわって、試して、考える参加体験型の展示を工夫しました。

参加者の感想

- ・豆についてとても詳しく紹介されており、とても勉強になりました。
- ・独自のアイデアで各校の特色ある給食がよくわかってきました。



石臼を体験！

ふるさと文化再発見プラン

影絵で民話を楽しむ

あしやの民話を影絵にしました。あしやには昔から語られているお話があり今も地名などで残っています。昔の芦屋をたどってみませんか。

日時 10月25日(土)午前10時30分～
会場 市民センター・音楽室
対象 幼児からどなたでも
内容 打出の小槌、高嶋池のがたろう、怪物の墓ぬえ塚 ほか

問い合わせ 文化財課 ☎31-9066

歴史散歩 54

芦屋ゆかりの人々
食満 南北

大正昭和を通じて、大阪の演劇界を縦横無尽に活躍した人物として食満南北(明治十三年～昭和三十三年)をご存じであるうか。酒造家堺の次男坊として何不自由なく育った南北は、幼少より芝居を好み、種々の仕事には就くものの演劇への思い捨てがたく、村上浪六や福地桜痴などへの師事を経て、大阪松竹に入社する。史劇や舞踊劇、現代劇など広範囲に及ぶ脚本を手がけ、その数は優に百を超えるといわれている。

さて、この南北、昭和七年十月に大阪から打出針の木現大原町に引越してきて、「この頃の我家」(『上方趣味』昭和八年十一月号)なる随想を残している。とにかく、引越し魔であつたらしく、まだ八カ月ほどであるのに、「喰うものに飽き、通ふ道に倦怠をもよおし」転宅を考えているという始末。しかし、当時の芦屋の牧歌的な風情も捨てがたかつたようで、「時鳥が啼く。何ともしれぬ草花が庭一面に咲き乱れる。六甲の山には刻々に趣をかえて行く。海の色。片田舎らしい汽車の通路」などが身にしみていたようだ。また、

一廉の料理通でも知られた南北は「神戸に近い肉。奇麗なばかりの高い蕎麦。畑からすぐとつてくる豆や梅」も魅力的ではあつたらしい。結局、親戚の「落着いてええところやがな」という意見も耳には入らず、「朝湯の遠い事」や「風の強いこと」を「書き並べ、」此家から「すく西へ」行きたい「とまたまた」転宅を匂わ「せて筆を揃」えている。



「南北戯画」(『上方趣味』昭和8年11月号)

問い合わせ 美術博物館 ☎5432